

決 済 動 向

— 平成6年7月 —

(平成6年9月12日)

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.2万件(前年比+4.5%)、金額ベースでは327.2兆円(前年比+6.2%)となった(6年1月17日の内国為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は+10.3%)。金額の内訳をみると、当座預金振替等は308.3兆円(前年比+11.4%)、民間の集中決済制度にかかる資金決済は12.8兆円(前年比△49.8%)となった(従来のベースで試算した民間の集中決済制度にかかる資金決済は前年比△0.8%)。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.0万件(前年比+23.8%)、金額ベースで106.5兆円(前年比+18.3%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.9万件(前年比+13.4%)、金額ベースで196.9兆円(前年比△11.4%)となった。

7月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで48.4万件(前年比+1.9%)、金額ベースで3.8兆円(前年比+2.6%)となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高8.1兆円(前年比△3.2%)、

支払高7.6兆円(前年比△0.6%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、7月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは45.1万枚(前年比△4.2%)、金額ベースでは8.4兆円(前年比△13.9%)となった。

7月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは338.6万件(前年比+7.0%)、金額ベースでは6.8兆円(前年比+4.9%)となった。

7月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは2.9万件(前年比+4.7%)、金額ベースでは25.8兆円(前年比+13.6%)となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は13.5万契約(前年比+61.5%)、月末の建玉数量は138.9万契約(前年比+88.2%)と引き続き前年を大幅に上回った。

6月のSWIFT総送信件数(本邦分、月中合計)は、193.1万件(前年比+9.3%)となった。

(信用機構局)